

2027 年 3 月期第 1 四半期 Web 会議 議事録 主な Q&A

日時：2026 年 8 月 3 日 月曜日 17:00～18:00

1.加工事業の FY2027/3 の計画について

質問：国内加工の事業利益計画の達成確度は？

回答：コンシューマ群は計画線上で伸長する中、今後は価格改定も行うため、販売数量を維持するための販売戦略を遂行する。業務用は相場上昇局面において、導入率の低下や天候要因が影響し、一時的に販売数量が減少したが、下期にかけて回復する見込みである。数量・ミックス改善・経費を総合的に勘案し計画を組み立てる。

質問：海外加工の赤字解消への進捗は？

回答：前期の課題であった北米買収企業の生産体制は整いつつある。また、鶏肉加工品販売も堅調に推移しており、北米事業が牽引する。タイは為替・現地鶏肉原料価格の高騰で苦戦が続くが、下期以降、国内加工同様にライン削減等を行い、固定費圧縮を図る。

2.加工事業の中長期的な考え方について

質問：国内加工は今後も収益改善に向けた構造改革を進めていくのか？

回答：既存の延長ではなく、外部環境の変化に見合った構造改革を遂行する。

3.食肉事業の FY2027/3 の計画について

質問：国内食肉事業の見通しは？

回答：国産鶏肉は知床火災影響の影響を受け、生産数量は減少しているが、社外調達や他生産工場の増産で期初計画以上にカバーできている。国産豚肉も新農場稼働に伴う増産などで生産頭数は拡大基調にある。フード販売も価格転嫁を進め、販売数量も前年並みを維持できている。バリューチェーン全体で利益の取れる当社の強みを活かして期初計画を上回る利益を確保する。

質問：海外食肉事業・豪州の見通しは？

回答：1 Qは海外食肉事業が伸長した。一方、2Q以降は輸入鶏肉相場の下落や豪州事業での生体相場価格上昇、販売価格の弱含み等が影響する。特に豪州事業は 2 Qが一番厳しい状況となるが、外部環境の変化に即応する柔軟な事業戦略で、3 Q以降は減益幅が緩和する見込みである。

4.スポーツ・エンターテインメント事業の F Y 2027/3 の計画について

質問：売上・利益が順調に伸びた背景は？

回答：チケット、広告、グッズ、飲食が好調で全体的に単価も上昇している。利益の質が上がっていると考える。

5.営業キャッシュフロー（棚卸資産）について

質問：棚卸資産が膨らんでいる要因は？

回答：主な要因は原料・製品の単価上昇である。過度に在庫を抱えているようなことはなく、課題とは捉えていない。

以上